

行政評価シート（事務事業評価）			評価年度	3年度
事業名	赤ワインの丘ブランド化推進事業費	担当課	産業観光課	
事業内容(簡潔に)	更なる農業・観光振興を図るため、葎崎産ワインの産地化・ブランド化を推進する			

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	魅力あふれるまちづくり
	政策	環境と調和した農林業の振興
	施策	農林業の振興
関連する個別計画等		根拠条例等

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	平成26年にワイン特区を受けたことを契機に市内にワイナリーが開業し、ワインに関連した農業振興が進んでいる。 そこで、更なる農業・観光振興を図るため、葎崎産ワインの産地化・ブランド化を推進する。
事業の手段	葎崎産ワインプロモーション実行委員会を通じた企画立案。 「ワインフェス in にらさき」を開催し、葎崎産ワインのPR（普及・啓発）を行う。 「ワインセミナー」を開催し、ワインに精通した人材の育成を行う。 市内外の各種イベントに参加し、葎崎産ワインのPRを行う。 小規模ワイナリー設立に向けた協議や取り組みを行う。
事業の対象	ワイン関係者・市民・観光客

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		30年度	元年度	2年度
財源内訳	A 事業費 (千円)	1,738	1,724	336
	国・県支出金	659		
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	1,079	1,724	336
B 担当職員数(職員E) (人)	0.2	0.2	0.2	
C 人件費(平均人件費×E) (千円)	1,373	1,343	1,315	
D 総事業費(A+C) (千円)	3,111	3,067	1,651	
主な事業費用の説明	ワインフェス開催事業費、葎崎産ワインPR事業費(試飲用ワイン購入費・交通費等) R2年度は新型コロナ感染防止措置によりワインフェス中止。(R元年度は台風により直前に中止となったが準備費用を支出)			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した30年度(6,862千円)、元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
活動指標	1 ワインフェス開催回数	回数	1	0	0
	2 ワインセミナー開催回数	回数	1	7	0
	3 イベント参加回数	回数	5	1	1
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	ワインフェス開催回数は、台風の影響や新型コロナ感染防止措置により、過去1回のみとなっているが、近年未実施の状況から春季の開催も検討。			
	2	好評であり開催回数を増やすことを検討。新型コロナ感染防止措置によりR2年度は未実施となった。開催形態の検討を行う。			
	3	現地を訪問する形態以外のPR方法も検討する。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値			
			30年度	元年度	2年度	
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	ワインフェス 来場者	人	1,200	0	0
	2	ワインセミナー 参加者	人	16	18	0
	3	韮崎産ワインの認知度	%	81	—	—
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない				
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	新型コロナウイルス感染防止措置によりイベントが開催できない状況だが、参加者数を指標とすることは妥当。H30年度は初めての開催だったが、予想以上の来場者があった。				
	2	新型コロナウイルス感染防止措置によりセミナーが開催できない状況だが成果を測る上で、参加者数を指標とすることは妥当。H30年度・R1年度ともに、参加者の評判も良かった。				
	3	R1年度以降アンケート未実施				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)			
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)			
	令和3年度の改善計画 (今後の事業展開説明) ・新型コロナの影響により、イベントが実施できない状況が続いているため、令和3年度はワインプロモーション実行委員会を定期的に開催し、新たに小規模ワイナリーを設立する方策を、市民アンケートの実施も踏まえながら検討していく。 ・令和3年度から地域おこし協力隊を1名採用し、3年後の小規模ワイナリー設立を目指し活動していく。 ・ワインフェスについて近年実施できていないため、春季の実施を検討。来場者数や産地化に関する認知度の把握を行い、事業の推進に結び付ける。 ・ワインセミナーについては、参加者の評判が良かったため、新型コロナウイルス感染防止措置を図った上で開催回数や開催形態の検討を行う。 ・各種イベントでの韮崎産ワインのPRについては、試飲できるイベントに限られること等から、イベントに参加しなくてもPRできる手法を検討する。			
過去の改善経過	改善の経過			
	直近の評価結果	内部評価	令和元年度	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
		外部評価	令和元年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
改善案	・ワインフェスについては、予想以上の来場者があり会場が混雑したため、より広い会場での開催を検討する。 ・ワインセミナーについては、参加者の反応が良かったため、複数回開催できるよう検討する。 ・各種イベントでの韮崎産ワインのPRについては、試飲できるイベントに限られること等から、イベントに参加しなくてもPRできる手法を検討する。			
課長所見	今後、韮崎産ワインの知名度アップやブランド化を強かに推進していくための様々な施策・手法の検討が重要であると考えます。			